様式第３号

事務事業評価表（内部管理事務等）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	契約事務			コード	165120
２ 担当部課	部等	総務部	課等	財政課	作成者 宮坂文彦

３ 事業概要	目的体系 基本目標	総合計画の推進に向けて		
	目的体系 政　策	総合計画の推進に向けて	施　策	その他
	予算科目	契約事務費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	その他（内部事務等）	国県補助	なし
	根拠法令	地方自治法、建設業法、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律、入札談合等関与行為の排除及び防止に関する法律、公共工事の品質確保の促進に関する法律		

●事業の実施内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		建設工事、委託業務、物品購入等について、法令に基づいた適正かつ公正な入札契約事務を行う。
目的	対象者	市民、事業者
	意　図	適正かつ公正な入札契約事務

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

岡谷市財務規則、岡谷市建設工事等入札制度合理化対策要綱ほか関係法令に基づいて、業者登録、入札、契約事務等を行った。
〇契約状況
・建設工事等契約事務数　164件　契約金額　1,428,681,240円
・物品、役務等の契約　260件　契約金額　546,552,499円
〇平成29・30年度入札参加資格申請の受付、審査、名簿登載
・登録数　建設工事：516社　建設コンサルタント：279社
〇建設工事等審査委員会開催　11回
・付託案件数　建設工事：40件　建設コンサルタント業務：7件

前年度の課題への対応	一部特殊な工事について、より市内業者の受注機会の確保・育成に配慮し業者指名の見直しを行った。

６ ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費		20,545	61,043	62,652	63,000
	経常経費	20,545	61,043	62,652	63,000
	臨時的経費				
	＊臨時的経費の説明				
② 人件費		16,000,000	16,000,000	16,000,000	16,000,000
	正規職員の人数（人）	2.00	2.00	2.00	2.00
③ 合計コスト（①＋②）		16,020,545	16,061,043	16,062,652	16,063,000
	前年度比		100.3%	100.0%	100.0%
	財源内訳 一般財源	16,020,545	16,061,043	16,062,652	16,063,000
	財源内訳 特定財源				
	＊特定財源の説明				
④ コストに関する補足説明					

イ）負担金、補助金、交付金の状況

［単位：件、円、%］

負担金補助金		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

●改善の内容（ACTION）

7　具体的な課題と改善

課題	（事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること） 物品役務の競争入札参加資格については、期限を設けておらず最新の業者の状況を把握できていない。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 物品役務の競争入札参加資格について、建設工事等と同様、２年間の期限を決めて入札参加資格審査申請の受付を実施する。
改善開始時期	Ｈ30.2

●次年度の計画（PLAN）

8　次年度の方針	継続して実施	9　施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	